

参加者アンケート結果

1. 今回の講座を受けての気づきやまなび

- ・豊見城市の特徴ではないかと思うこと（誰もが豊見城市だと思うもの）→広い眺望景観（とよみ大橋、大規模農地、瀬長島、美らSUNビーチ、等）、自然がまだ残されている。
- ・豊見城市内の民地、スージグラーをもっともっと発見し、集めていかなくてはと思う。
- ・どの景観を好むかは個人によって違う（自然的、歴史的、等）→誰が見てもよいと思うような景観はあるのか、と気になった。
- ・「良い景観」ときくとすぐには思いつかなかったが、大・中・小といった景観の分け方、面や線といった分け方で考えていくと思ひ当たるものが多々あった。
- ・景観とはばくぜんとは知っていましたが本日具体的にわかりました。
- ・以前から“豊見城らしさ”というのは何だろうと考えていましたが、なかなか答えが見つからなかったのですが、講座を受けて豊見城らしさとは「沖縄らしさ」+豊見城の「地域らしさ」「まちらしさ」という言葉がとてもしっくりきました！
- ・ふだんから地域に目を向け地域資源をさがしてみたいと思いました。
- ・もっと風景を見る機会を増やしてほしい。下車してみると印象に残り、よく理解できる。
- ・普段なにげなく見ている風景の中にもいい景観があることを知った。今後は少し気をつけながら、いろいろな場所を歩かなければならないと感じている。

2. 講座の進行・プログラムについて

- ・講座内容に沿う形のWS・今回はまち中へ入り、歩いて資源を発見したい・バスで周らなかったスポットについてもフォローがあるとよい。
- ・講座内容をもっと早く知れたら良いと思う。
- ・進行はスムーズでわかりやすかったです。
- ・参加者を増やすための声かけ方法を検討した方がいいかも。
- ・現状でよい。
- ・理想的な景観の映像を多くみて参考になったが、市民レベルで取り組める景観づくりについても学びたい。
- ・難しいことをするのではなく、単純に感じたことを発表することは、皆参加しやすいと思いました。
- ・グループワークの時間を増やす・参加人数を増やす（周知が必要）。
- ・始めるときにこれまでの経過、流れなどの説明があったので、良いと思った。
- ・中瀬古さんの講演もわかりやすく、具体的な写真での説明でよかった。

- ・市の魅力に会えてうれしかったです。
- ・景観づくりの考え方がわかりました。
- ・良い景観とは何かを知ること、それを導くために市民のアイデアを出し合うことが重要と感じました。
- ・豊見城市の「ほこりある・愛着ある・なつかしい」風景の保全について大切なことだと改めて思った。
- ・どのグループにも瀬長島、とよみ大橋とその周辺がとりあげられていた。市のランドマークとして、うまくいかせるようになればいい景観資源になるのでは。
- ・美しい景観とは、統一感のある景観であると思うが、それを作っていくには、景観を統一することで得られる利益への期待を住民が共通して認識することから始まると思う。利益を期待できなければ、一部の住民の自己満足にすぎず、一部にはどうでもいい事で実現は難しいのかなと思う。
- ・景観の類型によるそれぞれのポイントがあることがわかった。
- ・せっかく開催しているので参加者をもっと募っておいたほうが良いと思う。
- ・「景観とは見える環境」という見える環境なのが、それがポイントだとわかった。よい景観と言ってもただ美しい景観ということだけではなく、安心、やすらぎ、楽しい、誇り、愛着、懐かしさなどが感じられるものとの説明はとてわかりやすかった。
- ・「豊見城らしさ」を探し、景観をよくしていく計画をつくる必要がある。

3. 今後学んでいきたいこと

- ・小川や小山を人工的に作るにはどうすればよいか、まちの中に作ってほしい。
- ・もっとまちあるきをしてみたいです。歴史・文化も知りたいです。
- ・景観づくりの具体的方法。
- ・他市の景観計画（制限等）を知りたいです。
- ・参加者を多くしてほしい。
- ・まちまーいみたいなものを取り入れてみては。歩くことでいろいろ気づくはず。
- ・豊見城の景観をじっくり時間をかけて、見つけ出し市民と議論し、いいまちづくり、景観づくりに活かせるような場があったらいいと思う。
- ・「規制」ではなく、「誘導」していけるような意識づくりへの取り組みもできたらいいと思う。

◆内容に関する問合せ【実施機関】
(株) 国建 地域計画部（砂川）
TEL：098-861-0578, FAX：098-868-4771
e-mail：hiroaki_sunagawa@kuniken.co.jp
※本事業に関するお問合せ【発注者】
豊見城市 都市計画課（健山）

豊見城市 景観まち づくり塾

～「風景の再生」を学び、考える～ 【第3回】レポート 豊見城の景観ベスト集、 予備選！



～プログラム～

- 19:00 オリエンテーション
- 19:20 講演「良い景観・美しい景観とは、景観をどのように見るか」
- 20:20 豊見城の景観ベスト集、予備選！
- 21:00 閉会あいさつ



中瀬古銅羅氏の講演



グループ毎に景観ベスト選



■25年度スケジュール（全3回）

第1回 そもそも景観ってなんだろう？

講師：崎山正美氏（風水舎代表）
日：平成25年11月26日（火）18:30～20:30
場：豊見城市社会福祉センター

終了

第2回 一周バスで風景散歩

～知らない豊見城の風景を発見！～
日：平成25年12月15日（日）10:00～12:30
場：豊見城市社会福祉センター

終了

講演 良い景観・美しい景観とは
景観をどのように見るか

講師 中瀬古銅羅氏（なむ環境創造代表）

地域住民にとって誇りとなり、住んでよかったと思われる風景や訪れる人にとって来てよかったと思われる風景は、地域に活力をもたらす「市民共有の財産」である、というお話から始まりました。

景観とは「みえる環境」であり、「豊見城らしさ」とは、「沖縄らしさ」+豊見城の「地域らしさ」「まちらしさ」から形づくられる、だからこそ「景観づくり」は「まちづくり」そのものである、とお話は続き、那覇市を中心とした景観事例から具体的な景観について学びました。

塾の後半では、グループ毎に「豊見城らしい」景観を写真から選び、その理由を考えるというワークを行ない、発表まで行いました。（次頁参照）



講演目次

- 1) よい景観・美しい景観とは・・・
- 2) よい景観・美しい景観を
どのようにして見つけるか
- 3) 沖縄らしさ＝地域らしさを支える基盤
- 4) 景観づくりのための景観の見かた
- 5) 景観スケールを考慮した
景観タイプのイメージ
- 6) 景観の具体例～那覇市を中心にして～
- 7) さて、景観類型別の優れた景観を
探してみよう（グループワーク）



上：景観づくりからまちづくりへのステップ
右：景観タイプのイメージ

○「豊見城らしい」景観とその理由（グループ毎に風景写真を選び、その理由を出し合いました）

グループ1

選んだ写真	選んだ理由
真玉橋	歴史を感じる。タイムスリップ
古民家大城家	数少ない古民家
アウトレットモールあしびなー	エレガントな気分になれる商業施設です
とよみ大橋	これぞランドマーク！美しい！！
飛行機	飛行機の離着陸を身近に見られるのは、県内でもこの場所だけ
豊見城城址	グスク・森が残っている
轟川のせせらぎ（平良）	身近な安らぎを感じるスポット
瀬長島一周道路	都市に近い自然海岸
嘉数公民館のガジュマル	この地域を見守る大きな存在を感じる



グループ2

選んだ写真	選んだ理由
古民家大城家	沖縄らしくてよい（原風景である）
真玉橋	歴史の風景、貴重な財産
瀬長島（遠景）	瀬長島を見たら豊見城だと思える、わかる。 夕日が美しくやすらぎ行きたくなる場所
大規模農地（饒波）	周辺に広がり邪魔するものがなく農地の風景として他の都市にないものと思う
とよみ大橋	見る度清々しい気分になる。自然（広い空、緑）の中にピンと建つ姿が美しい
飛行機	飛行機の離着陸が近くで見られるので楽しい
エコシティとはしな（遠景）	緑と赤瓦の統一感がよい
轟川のせせらぎ（平良）	緑、住宅のバランスが良くせせらぎがあることにより癒される感じがするから
夕焼け（瀬長島より）	小さい頃から家族、友人、恋人と通った人も多いと思う。変わらない風景
美らSUNビーチ（豊見城道路より）	すごく気持ちのいい景観
緑地帯（豊崎）	南国らしいヤシで統一され、海と空と緑できもちの良い空間となっているから



グループ3

選んだ写真	選んだ理由
豊見城城址	整備してほしい
赤崎（瀬長）	豊見城に入った！と思う
保栄茂集落の石垣	何かが伝わる
饒波のシーサー	バス停で一緒にまつ感じ
轟川のせせらぎ（平良）	定期的に清掃しているので愛着がある
長堂集落	山に守られて住み心地よさそう
エコシティとはしな	緑が多く手入れする人の気持ちを感じる
轟川の滝（平良）	落差があり見応えがある
エコシティとはしな（遠景）	緑の中に赤瓦がきれいに並んでいる
夕焼け（瀬長島より）	沖縄で一番だと思う
大規模農地（饒波）	ビニールハウスがこんなにそろった場所はない
トックリキワタ（石火矢橋）	木が大きいので、花が咲くと見応えがある
とよみ大橋	多くの人が知っている。水鳥



グループ4

選んだ写真	選んだ理由
緑地帯（豊崎）	散歩をするのに緑と空の青さが散歩をたのしくしてくれる感じがします
轟川の滝（平良）	穴場感。まちなかにある意外性
飛行機	非日常的。ワクワク感
エコシティとはしな（遠景）	屋根色の統一感
豊見城城址	新興住宅地にちいさくても良いから小山があれば小さい樹木を植樹したい
とよみ大橋	水、緑、空に対してとても調和したランドマーク
轟川のせせらぎ（平良）	水と緑は心身を癒してくれます。
ビニールハウス	田園風景。生産の活力を感じる
NHK 電波塔	ランドマーク。豊見城市にきたという安心感がある
水鳥	渡り鳥の飛来地。心がいやされる。